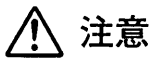
TOSHIBA 東芝照明器具取扱説明書

●お客様へ　お買い上げありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。
本書は必ず保管してください。

●工事店様へ　この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

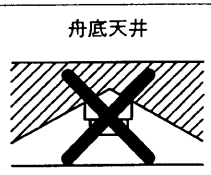
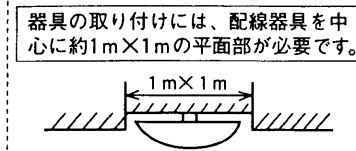
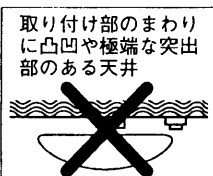
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⚠ 警告

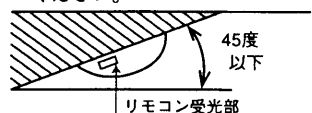
●次のような、場所には取り付けないでください。

この器具は天井取付専用です。
指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。

桟のあるサオブチ天井

舟底天井

簡単にたわむ天井

取付禁止

※45度以下の傾斜天井に取り付ける場合は、下記の条件をお守りください。

●傾斜方向の下側にリモコン受光部側がくるように取り付けてください。
●引掛シーリングに器具の荷重が加わらないように本体を木ねじで必ず固定してください。

●次のような、配線器具には取り付けないでください。

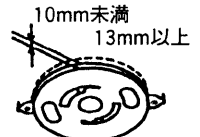
火災・感電・落下してけがの原因となります。
次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。（※素人工事は法律で禁じられております。）

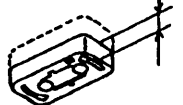
・破損しているもの

・グラグラしたり、取り付けが不十分なもの

電源端子
露出タイプ
23mm以上
20mm未満

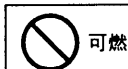
10mm未満
13mm以上

・ケースウエイに取付いているもの

角形・丸形引掛シーリング

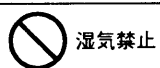
・シーリングハンガー付きのもの
埋込・露出引掛シーリング
・配線器具が埋まり込んでいるもの

※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

●器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

改造	火災・感電・落下してけがの原因となります。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

可燃物	火災の原因となります。

⚠ 注意

●屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。

湿気禁止	この器具は非防水です。 火災・感電の原因となります。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。

接触禁止	高温になっています。 やけどの原因となります。

●温度の高い場所では使用しないでください。

暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

高温禁止

●交流１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください。
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
●調光器が取り付けられている配線で使用しないでください。
火災の原因となります。
●天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

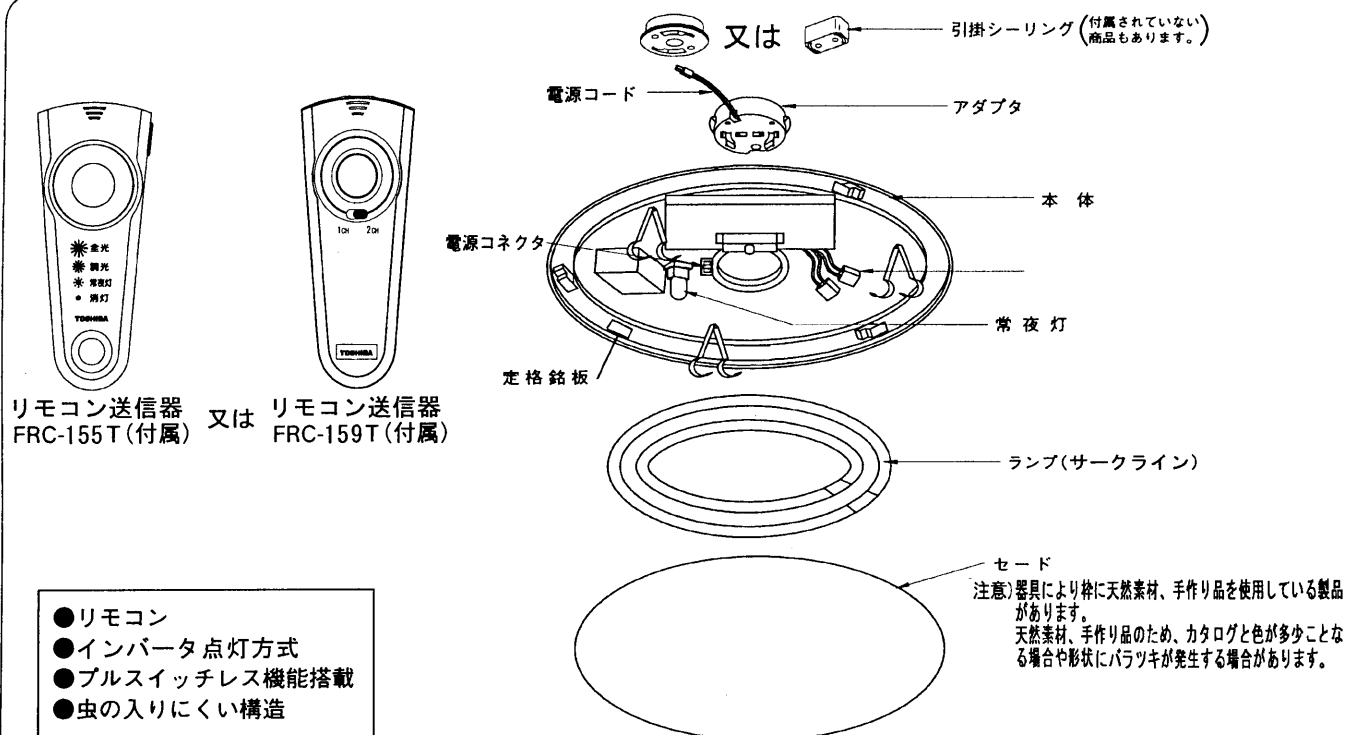
●照明器具には寿命があります。設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯。（ＪＩＳ C8105-1解説による。）
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

❗ 異常が生じた場合は、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）、東芝家電修理ご相談センター（保証書に記載）にご相談ください。

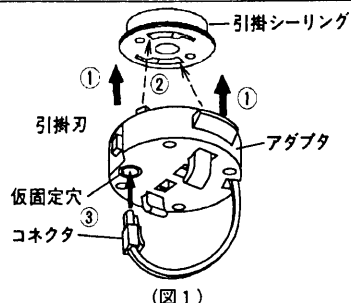
<生産完了 2009年10月28日>

■各部のなまえ

・この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

●リモコン
●インバータ点灯方式
●プルスイッチレス機能搭載
●虫の入りにくい構造

■器具の取り付けかた

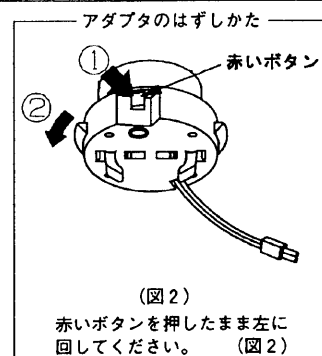
1．天井の引掛シーリングにアダプタを取り付けてください。

（図１）

①引掛シーリングへ二本の引掛刃を挿入します。（図１）
②"カチッ"と音がするまで右に回します。（図１）
③コネクタを仮固定穴に挿入します。（図１）

⚠注意

赤いボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。
アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

アダプタのはずしかた

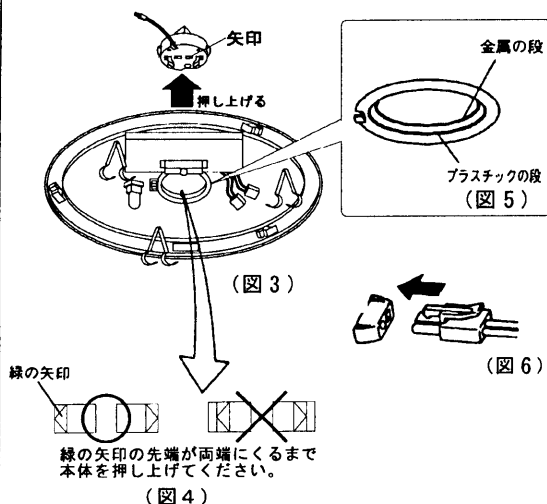
（図２）
赤いボタンを押したまま左に回してください。（図２）

2．本体を取り付けてください。

⚠警告 取り付けが不完全ですと、落下してけがの原因となります。

（図５）
（図３）

（図６）

緑の矢印

緑の矢印の先端が両端にくるまで本体を押し上げてください。
（図４）

注）器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
（天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。）
①本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて本体をまっすぐに押し上げます。（図３）
②本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げて下さい。（図４）

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適応できます。

埋込引掛シーリングの場合	角形・丸形引掛シーリングの場合
（高さ約11mm）	高さ約22mm　高さ約22mm（高さ約22mm）
１段回押し上げてアダプタのツメを（図５）の金属の段に取り付けてください。（図５）	２段回押し上げてアダプタのツメを（図５）のプラスチックの段に取り付けてください。（図５）

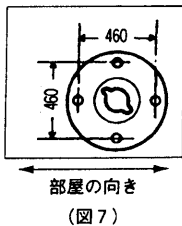
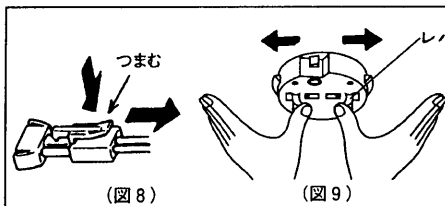
③アダプタコードのコネクタを電源コネクタに差し込みます。
抜けないことを確認して下さい。（図６）

<生産完了 2009年10月28日>

本体を取り付けた際、図7のノックアウトを部屋の向きと平行にあわせてください。
本体を取り付けた後、本体が安定しないときは図7のノックアウトを利用して木ネジで止めてください。

(図7)

本体のはずしかた

(図8)　(図9)

電源コードのコネクタを電源コネクタからはずします。
コネクタをつまみながら引き抜いてください。(図8)
両手で本体を上に押しながら中央にあるアダプタ矢印を外側にひろげ本体をはずしてください。(図9)
本体は必ず両手でおさえながらはずしてください。
本体をおさえないで本体をはずすと本体が落下してけがの原因となります。

3. ランプを取り付けてください。

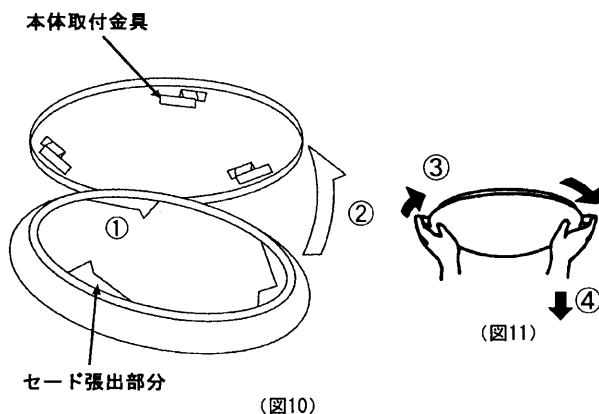
注）包装時に装着済み

(1)本体に径の小さいランプから順に取り付けます。
①ランプをランプソケットの位置に合わせてランプホルダーにランプを取り付けます。(3箇所)
②ランプソケットをランプの表示に合わせて取り付けます。

ランプのはずしかた
ランプ径の大きいランプから外してください。

⚠ 注意
ランプをソケットの表示に合わせ確実に取り付けてください。
取り付けが不十分ですと、点灯しなかったり火災の原因となります。

4. セードを取り付けてください。

(図10)　(図11)

①セードの張出部分を本体取付金具と本体取付金具の間にセットしてください。　(図10)
②セードを持ち上げます　(図10)
③“カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。　(図11)
④セードを軽く引っぱって外れないことを確認してください。　(図11)

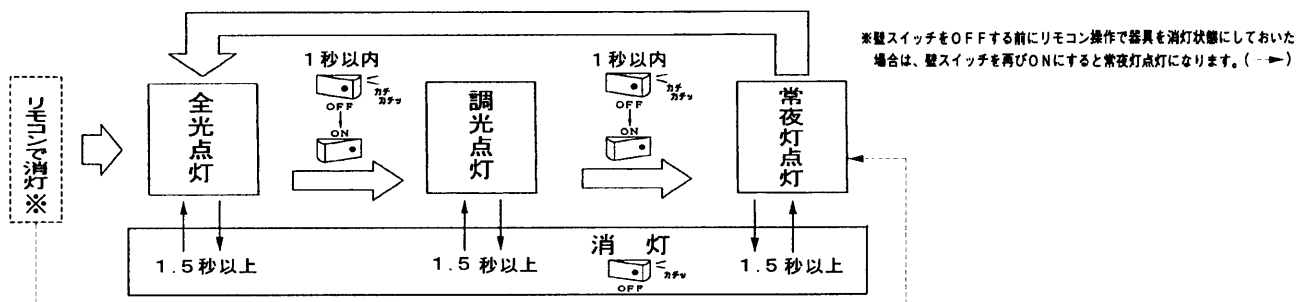
⚠ 警告
セードを本体に確実に取り付けてください。
全てのセード取付金具にセードが取り付いたことを確認してください。
取付が不十分ですと、落下してけがの原因となります。

セードのはずしかた
“カチッ”と音がするまで、セードを左に回してください。

■器具の使いかた

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

プルスイッチレス 機能・・・この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。
器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。

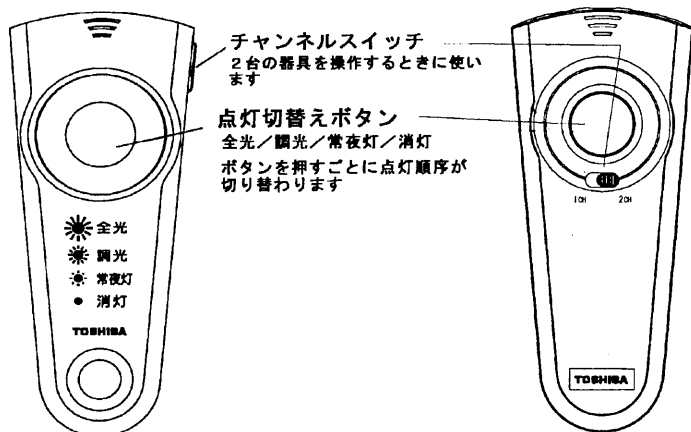
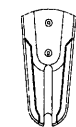
※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びONにすると常夜灯点灯になります。(--►)

(ご注意)
1個の壁スイッチで2台以上のプルスイッチレス機能搭載器具を操作することはお避けください。同時に切り替わらない場合があります。

■器具の使いかた

各部のなまえ

各部のなまえ

リモコン送信器

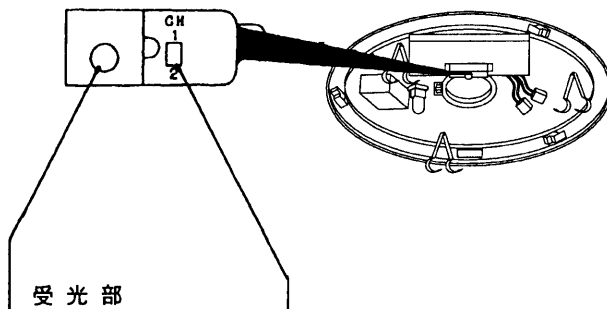
送信部

〔付属部品〕

リモコン
ホルダー

取付用
木ねじ
（２本）

単４乾電池
（２本）

照明器具の切替スイッチ部

CH
1
2

受光部

●リモコン送信器から出た赤外線を受信します。

チャンネル切替スイッチ

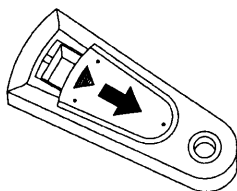
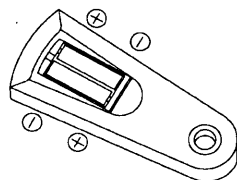
●当リモコン照明器具は２チャンネル方式です。このチャンネル1、2を送信器と同じチャンネルにしてご使用ください。

ご注意

●万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
（壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください。）

※このチャンネルは、出荷時チャンネル１に設定してあります。

１．リモコン送信器に乾電池を入れてください。

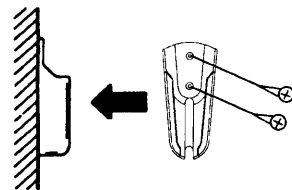
①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。

②単４乾電池を表示に合わせて極性＋－をまちがえないように入れてカバーを閉めてください。

●リモコン送信器の平均電池寿命は１日10回使用の場合約半年間がめやすです。

ご注意

●乾電池交換の際は必ず同時に２本とも交換してください。動作不良の原因となります。

●長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。
液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

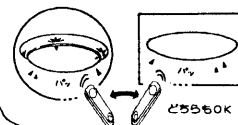
２．リモコンホルダーのご使用方法

●リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けてご利用ください。

付属の木ネジでリモコンホルダーを確実に固定してください。

ご注意

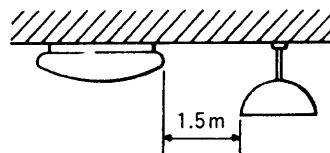
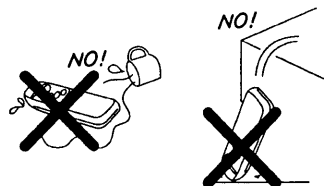
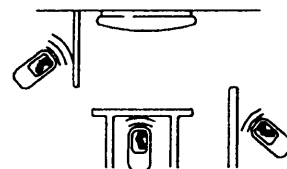
●リモコンを操作する際は、ホルダーから送信器を外して器具に向けてください。

リモコン送信器による照明器具の点滅操作

- リモコン送信器を照明器具に向けて、点灯切替えボタンを軽く押してください。照明器具内のブザーが“ピッ”となってボタンを押すごとに点灯順序が切り替わります。（図１）
- ２台の照明器具の操作が１つのリモコン送信器により行えます。それぞれの照明器具側のチャンネルをチャンネル１・チャンネル２と個別に設定した場合、リモコン送信器のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみが動作します。（図２）

（図１）　（図２）

リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがＯＮのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約１Ｗの電力を消費します。
  長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。

1.5m

- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
  故障の原因となります。

- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。

- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
  又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。

■ランプ寿命について

- 一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し、常夜灯が点灯します。
  残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかに、すべてのランプを交換してください。

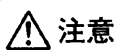
■故障ではありません

- 冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
  雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約８～10年です。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で１度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願いいたします。

■お手入れのしかた

・常に明るく安全に正しく使っていただくために、６ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

- 器具の汚れ(ホコリや虫など)は、やわらかい布を中性洗剤に浸しよくしぼったものでふきとってください。

（ご注意）■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、変質、破損の原因となります。
■器具により天然素材の和紙を使用している製品があります。シワ・タルミがある場合はそのままご使用ください。
和紙がへこんだ場合は、その部分に霧状の水をかけてください。乾燥することによって復元します。

⚠注意	●ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

＜生産完了 2009年10月28日＞

■ランプの交換

● ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。
ランプ交換の際は、適合ランプ(東芝蛍光ランプ・サークライン)をご指定ください。

■仕　様

器　　具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適　　合　　ラ　　ン　　プ
72W形	AC100V	50/60Hz共用	61.5W	約1W	FCL40/38 FCL32/30 常夜灯100V5W

・ご転居されたり、贈答品などで販売店(工事店)に修理のご相談ができない場合
「東芝家電修理ご相談センター」 0120-1048-41
・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
「東芝家電ご相談センター」 0120-1048-86
携帯電話・PHSからのご利用は(03)3426-1048(有料)
＊フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

・「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

器具形名	
本体形名	

■お客様メモ

購入年月日　　　　年　　　月　　　日

<生産完了 2009年10月28日>